

# 平成 26 (2014) 年度 最終報告書

川崎・富川高校生フォーラム「ハナ」 代表 風巻 浩

コード番号 14-A-141

申請事業名

川崎・富川高校生フォーラム「ハナ」夏の交流会（夏ハナ）、冬の交流会（冬ハナ）

## 1 活動の目的

青少年の相互理解と友好増進：日本と韓国の高校生が、共同体験・学習・生活を通じて日本と韓国、在日コリアンの若い世代同士の相互理解と友好関係を醸成し、内なる国際化と国際交流が結びついた多文化共生の地域社会の形成に寄与することを目的とする。

「ハナ」は、韓国・朝鮮語で「ひとつの」という意味であり、日本の高校生と韓国の高校生、そして在日コリアンの高校生たちが「ひとつになろう」という意味である。

## 2 活動の内容と方法

日本と韓国の高校生の相互理解と友好増進、内なる国際化と国際交流が結びついた多文化共生の地域社会の形成をめざし、2000年に川崎市と韓国の富川市の高校生同士の交流としてはじまった。当初より、高校生の自主的活動として位置づけ、大人はサポーターとして支援する形をとっている。

夏は、日本の高校生が訪韓、冬は韓国の高校生が来日し、それぞれ4泊5日のプログラムで交流をしている。共同体験・学習・生活を通じて日本と韓国、在日コリアンの若い世代同士の相互理解と友好関係を醸成するため、特にフォーラム（討論会）を中心的なプログラムとしている。テーマは毎年高校生同士が協議して決定するが、日韓の歴史問題、南北朝鮮間の問題、東北アジアの平和問題などが中心的テーマになる。具体的には次のような方法で実施している。

(1) フォーラム（討論会）：歴史フォーラムと文化フォーラムを実施する。日韓の高校生同士が協議して共通テーマを決定し、それぞれ事前学習を行い、レポートを作成する。レポートは、フォーラムの場で発表し、討論する。討論は全体討論とワークショップ形式のグループ別討論とし、模造紙などに日韓両言語で整理・発表し、再度全体討論を行なう。

(2) フィールドワーク：フォーラムのテーマに関連する歴史的な史跡などを探訪し、共同体験・共同学習する。当時の体験者や専門家などを講師に迎え、説明と質疑応答を通してより深く理解できるよう工夫する。

(3) ホームステイ：4泊のうち2泊をホームステイとし、相手方の高校生の家庭で文化や生活様式の違いを肌で直接体験する。お互いに外国語の能力が不十分であっても、理解しようという姿勢がもっとも大切であることを学ぶ。

(4) 合宿：4泊のうち2泊を合宿とし、フォーラムやレクリエーションなどで、共同討議、相互交流、共同生活を体験する。

(5) OB・OG との対話：ハナの歴史を振り返り、OB・OG たちがどんな活動を通じてどのように信頼関係を作ってきたかを知る。また、現在は大学生や社会人となっている OB・OG の生き方にハナ活動がどのように活かしているかを直接聞くことで、自分にとってのハナ活動の意味を再度振り返る機会とする。

### 3 活動の実施経過

2014年度は月2回程度の準備会・事前学習を行い、次のような内容で実施した。

<夏の交流会（夏ハナ）> 韓国・富川市及びソウル市にて

	午前	午後	夜
8月12日 火曜日	12:05：川崎ハナ、羽田空港から飛行機搭乗	14:25：金浦空港 到着 15:20：歓迎会場所へ移動 16:30：歓迎会（コリウル青少年文化の家）	ホームステイ
8月13日 水曜日	8:00：集合（富川駅） 8:30～9:30 フィールドワークⅠ移動 9:30～：西大門刑務所 探訪 12:00～13:00：昼食	13:00～14:00：フィールドワークⅡ移動 14:00～16:00：安重根義士記念館探訪 16:00～17:30：フィールドワーク（Ⅰ、Ⅱ）評価	ホームステイ
8月14日 木曜日	9:30：コリウル青少年文化の家集合 10:00～12:30：文化フォーラム	12:30～20:00：自由探訪 20:00～21:00 宿泊所到着	20:00：宿泊所集合 21:30～23:30：‘ロストメモリーズ’ 映画鑑賞
8月15日 金曜日	7:30：起床、洗面及び朝食 9:00～12:00：歴史フォーラムⅠ	12:00～13:00：昼食 13:00～18:00：歴史フォーラムⅡ 18:00～19:30：夕食	19:30～21:00：OBOGとの交流時間 21:00～：プレゼント交換及び評価会
8月16日 土曜日	9:00～10:00：起床、洗面及び朝食 10:00～11:30：荷物の整理	11:30～13:30：金浦空港へ 13:30～15:00：自由時間 15:30～17:35：川崎ハナ飛行機搭乗	

<冬の交流会（冬ハナ）> 川崎市及び横浜市にて

	午前	午後	夜
12月 23日 (火)	7:55 NH1160 便金浦発 9:55 プチョンハナ羽田 空港着 11:30 歓迎会 川崎市産業振興会館	2:00 頃 早めに解散して ホームステイ先へ	ホームステイ
24日 (水)	8:20 学校見学 9:00 全校集会 10:00 大掃除とLHR 放課後 交流会	13:00 頃 自由探訪出発	ホームステイ
25日 (木)	8:50 武蔵小杉駅集合 9:00 バスに乗車 10:30 在日韓人歴史資料 館 到着 ～12:30 資料館見学	12:45 資料館出発（バスの 中でお弁当） 14:15 黒川野外活動セン ター到着 14:45 記念講演 16:30 感想発表会 17:30 休憩 18:30 夕食	20:00 クリスマスパーティ とプレゼント交 換 22:00 自由時間・就寝
26日 (金)	8:40～12:30 歴史フォーラム I 12:30 昼食（お弁当）	13:20～17:10 歴史フォーラム II 18:00～19:30 夕食（お好み焼き） 19:30～20:30 自由時間・入浴	20:30～23:30 OBOG との交流会 23:30 自由時間・就寝
27日 (土)	8:30 黒川青少年野外活 動センター出発 9:30 川崎市平和館着 9:30～12:00 評価会	12:00～13:30 昼食（お弁当）・平和館見 学 13:30～15:00 評価会（続き） 15:00 平和館出発 15:45 川崎大師、仲見世を 散策 16:45 川崎大師出発 17:30 羽田空港着 18:30 頃 お別れ	20:00 NH1167 便羽田発 22:30 金浦空港着

#### 4 活動の成果

「ハナ」の活動の特徴は、共同体験・学習・生活を通じて、日本と韓国、在日コリアンの若い世代同士の相互理解と友好関係を醸成するとともに、歴史教科書や靖国神社、竹島、日本軍「慰安婦」などの日韓間の懸案もタブーにすることなく、本音で議論し合うことで信頼関係を深めてきた点にある。2014年度の活動でも、ホームステイでは、互いの生活様式の違いを知り、異文化理解を深めた。合宿の中で行われるフォーラムでは、事前学習やフィールドワークで学んだことを生かしながら、互いに討論する中で、相手の考え方を理解・尊重し、友好関係を深めることができた。

このような形で続けてきた「ハナ」の活動は、この16年間で31回の交流会を開催し、参加者は第1期から第18期まで約300人にのぼるが、次のようなさまざまな成果を挙げることができる。

- ・ハナの運営は高校生が主体となるが、高校卒業後もOB・OGとしてハナの活動に関わり、高校生をサポートしている。日韓のOB・OG同士がしっかりと信頼しあってサポートする姿が、高校生にとって良いロールモデルとなっている。

- ・ハナで高校生の活動をサポートする経験を積んだOB・OGが、日本や韓国はもちろん、中国やタイなどで新たな交流事業に携わり、そのスキルを生かしている。

- ・ハナの経験は参加者一人ひとりの進路に大きな影響を与えているが、留学する者が多い。日本と韓国はもちろん、中国やイギリス、カナダ、アメリカなどにも留学している。特に日韓間で留学したOB・OGは、高校生同士の連絡の通訳・翻訳を日常的にサポートしている。夏と冬の交流会には多くのOB・OGが参加し、フォーラムなどで通訳を担当したり、高校生に言葉を教えている。

- ・留学後に留学先で就職するOB・OGも多い。例えば、富川側OBが日本の企業に、川崎側OGが韓国企業に就職している。

- ・直接日韓と関係のない進路であっても、中学・高校教員や大学教員、川崎市等の公務員など、各界で活躍している。そして自らの職場や地域などさまざまな場において、ハナの経験を生かし、人と人が互いの違いを認めて交流していく活動を進め、広げている。

- ・ハナは高校生たちが本音で議論しあうことで共通理解に達し、固い友情で互いに結ばれるようになるが、さらに「人生のパートナー」となるOB・OGたちもいる。特に、2015年5月17日に行われた富川ハナOBと川崎ハナOGの結婚式については、NHKが5月18日にニュースで繰り返し報道したほか、日韓国交正常化50周年と関連した特集番組としてNHK-BSでも放送された。

#### 5 今後の課題と展望

政治の世界では日本と韓国の対立が続き、現在の日韓関係は戦後最悪といわれ、また国内ではヘイトスピーチなど排外主義的な動きが強まっている。しかし、ハナで高校生同士が作り上げてきた絆は壊れることなく、2000年から一度も途切れることなく続いてきた。日韓関係がぎくしゃくしている時期こそ、高校生たちの交流を大切にし、継続していく必要がある。ハナのような活動を経験した若者が増えることが、これからの東アジアに平和と共生をもたらす礎になる。「アジア市民」や「地球市民」として、東アジアひいては世界の平和と発展のために活躍することを期待したい。